



## 高麗の郷とは？

### 2016年 高麗郡建郡1300年を迎える 「高麗の郷・日高市」

7世紀後半、朝鮮半島北部にあった高句麗（高麗）は、唐・新羅連合軍との戦いで滅亡しました。国を追われ、海を渡って大和（日本）へと逃れた高句麗の人々。

約50年後の霊亀二年（716年）、東国七ヶ国（現在の関東・東海地方）に点在し、帰化人となった高麗人は武蔵国へ移され、高麗郡（こまごおり）が置られました。

これが、現在の日高市にある「高麗の郷」の始まりです。奈良時代前後に造営された3つの寺院跡が市内で発掘されたことなどから、郡の中心は現在の本市にあったと考えられています。

2012年には「高麗郡建郡1300年記念事業委員会」が「新高麗郡エリア」と称し、7市2町（＝日高市、飯能市、入間市、狭山市、川越市、鶴ヶ島市、坂戸市、毛呂山町、越生町）を指定しています。

## 高麗の郷ブランドとは？

### 「高麗の郷ブランド」認証の目的

多くの皆様に「高麗」の歴史や文化を知っていただいたり、「高麗」を身近に感じていただきたいと、先人への感謝をこめて「高麗の郷ブランド認証事業」を始めました。高麗の郷ならではの魅力ある商品や製品、食文化や生活文化等を、「高麗の郷ブランド」として認証し、高麗の郷のPRや独自性の創出を行っていきます。

### 「高麗の郷ブランド」のコンセプト

「高麗ブランド」のコンセプトは、先人からの贈り物を後世へ引き継ぐ、「トライからミライへ」。今に伝わる古いもの、今のもの、そして未来につながるものを、後世、そして全国に伝えていくといった気持ちが込められています。

### 高麗郡建郡1300年を 迎えるにあたって

2016年に、高麗郡が建郡されて1300年という節目を迎えます。

日高市では、先人から受け継いできた大切な歴史や文化を、未来へ引き継ぐため「高麗郡建郡1300年事業」の推進を予定しています。

「時」、「場」、「人」、「食」、「花」のつながりをキーワードに、観光客を含め、市全体で演出し、地域活性化を推進します。さらに、どなたにでも高麗の郷のことを知ってもらえるよう、簡単な解説つきの「早わかり高麗郡入門Q&A」を発行しています。

ぜひ、ご覧ください。

また、数々の記念行事の開催も予定しています。

## 高麗の郷ブランドの特長

「高麗の郷ブランド」には、7つの認証条件があり、高麗の郷ならではの製法や素材、こだわり等の条件を、1つ又は複数満たすことが特長となっています。現在、28事業者56品目を認証しました。（2014年10月1日現在）

※認証条件の詳細は、公式HP「高麗の郷ブランド」にてご覧ください。<http://koma-brand.jp/>

### 食文化活動・生活文化活動

1300年の歴史を持つ高麗の食文化を伝える活動や、数百年にわたり地域で継承してきた神事芸能等、本郷自慢の無形資源を認証しています。

### 1次商品 認証商品

地域色豊かに、歴史の重みを今に伝える、当地域自慢の農産物を認証しています。

### 加工食品 認証商品

日本の高麗とも言える本郷。地場産野菜を使用する等の他、古くから伝わる伝統の料理法や製造法を用いる等、本郷ならではの個性豊かな加工商品を認証しています。